

いつもお世話になっております。
ネクスト・イットの吉政でございます。

今号は本日発表いたしました「Open-Xchange」の報道発表についてお伝えしたく、メールマガジンを発行いたしました。本報道発表は本日、メジャーメディアとの取材があり、ニュース掲載が確実にあります。ニュースサイトにも掲載されると思われますので、是非ウォッチ下さい。

ポイントは、マイクロソフトExchangeの機能+アルファ（マルチアカウントやソーシャルメディア対応）で価格が大幅に安く、データセンター向けに特別価格を持っているところです。グループウェアのリプレースの際には、現状使用しているものと操作感を変えたくないという要望は必ずあると思います。まさに、その部分を解消するコストパフォーマンスがよい製品なのです。

※「Open-Xchange」は世界2000万ユーザを誇る世界屈指のオープンソース・クラウドソリューションであり、日本初上陸です。ネクスト・イットが独占販売権を獲得しています。

それでは、今号も宜しく願いいたします！

—目次—

【1】 【報道発表の予定】

2010年11月11日発表
ネクスト・イット、エンタープライズ&パブリック
クラウドコンピューティング用グループウェア ソリューション
「Open-Xchange」を販売開始

【2】 【セミナー関連】

2010年11月24日開催（無料）
仮想環境におけるネットワークセキュリティ検討時の要点解説セミナー

2010年11月25日開催（無料）
エンタープライズ・クラウド コンピューティング用
グループウェア「Open-Xchange」のご紹介

2010年11月10日～12日開催
クラウドコンピューティングEXPO

【3】 【戦略コラム】

第五回：SaaS利用と自社構築の比率～従業員50名以下がSaaSへ～

—詳細と解説—

【1】 報道発表のご報告

■ 2010年11月11日発表
ネクスト・イット、エンタープライズ&パブリック
クラウドコンピューティング用グループウェア ソリューション
「Open-Xchange」を販売開始

～小規模からエンタープライズソリューションまで幅広く対応、
24時間365日のサポートを提供～

【報道発表原文】
http://nextit.jp/download/news/OX_PRESS20101111.pdf

【解説】
「Open-Xchange」のウリはマイクロソフトExchangeの機能や操作感をそのまま
ページ(1)

にコストを大幅に削減できるところです。Webページには実際の画面をWebアップしていますので、是非そちらもご覧ください。また、データセンターの方向けに特別の価格をご用意しています。データセンター様で新サービスを開始する際はどうしても初期投資がかさみ、最初の段階では赤字になり易いです。「Open-Xchange」のホスティングエディションでは、ビジネスが軌道に乗るまでの初期段階においてコストがかさまない様な工夫がされています。ホスティングエディションの価格については以下よりお問い合わせください。（吉政）

※「Open-Xchange」ホスティングエディション価格のお問合せ先
<http://nextit.jp/support/soudan.html>

【2】セミナーの関連

■仮想環境におけるネットワークセキュリティ検討時の要点解説セミナー

（2010年11月24日開催（無料））

クラウド・コンピューティングは、規模の経済や標準化といったメリットを提供しますが、その反面、セキュリティ上の課題があると言われております。そこで、ネクスト・イットでは、クラウド・セキュリティー・ガイドラインの解説を行うとともに、スパム対策で圧倒的な評価を得ている統合型セキュリティデートウェイ製品である、Astaro Security Gateway（アスタロー セキュリティ ゲートウェイ）のクラウド環境での活用方法とセキュリティ上の注意点及び最新鋭の実践的な技術を解説させていただきます。また、本セミナーでは新製品であるAstaro REDやAstaro Wireless Security、そして、近年注目を集めているCSAのクラウド・セキュリティー・ガイドラインや経済産業省のBCPガイドラインについても解説をさせていただきます。

詳細は⇒ <http://nextit.jp/seminar/astaroVA1124.html>

■エンタープライズ・クラウド コンピューティング用 グループウェア「Open-Xchange」のご紹介

（2010年11月25日開催（無料））

急速に発展するクラウドコンピューティング、モバイル化時代への対応策として、社内情報伝達の確実性、共同作業最小限のツール整備が急務となりつつあります。Open-Xchangeは、企業が最小限必要としているメール機能、ドキュメント共有等を一括に、スムーズに、そして簡単にコストパフォーマンスを実現したグループウェアです。このセミナーでは、Open-Xchangeの効果的な運用方法を、デモンストレーションや Q&A セッションを交えてご説明します。お忙しい折、恐れ入りますが、是非ご出席賜りますようお願い申し上げます。

詳細は⇒ <http://nextit.jp/seminar/ox1125.html>

■クラウドコンピューティングEXPO（11月10日～12日開催）

11月のOpen-Xchange社CEO来日に合わせて、クラウドコンピューティングEXPOに出展します。Open-XchangeとAstaroを展示しています。既に取材が決定しておりニュースサイトでもその動向を閲覧することができます。クラウドコンピューティングEXPOにご来場される方は是非、ネクスト・イットブースにお越しください。

クラウドコンピューティングEXPO ⇒ <http://www.aki.cloud-japan.jp/>

【3】戦略コラム

■【第五回】SaaS利用と自社構築の比率 ～従業員50名以下がSaaSへ～

海外のデータで恐縮ですが、2010年～2014年の間での、SaaSと自社構築型の利用比率が発表されています。IDCによると、この5年間に於いて従業員250人以上1000人未満の企業でSaaSを使用している企業の比率は2010年～2014年の期間で約20%と変動せず、また、従業員1000人以上の企業でもSaaSの利用

ページ (2)

next015

率は5%前後から推移しないそうです。一方、2010年の段階で、従業員数10名未満の企業と、従業員数10名以上50名未満の企業及び50名以上250名未満の企業は2010年の段階で40%前後の利用率に対し、2014年では、従業員数10名未満の企業では90%、従業員数10名以上50名未満の企業では80%、50名以上250名未満の企業では60%の企業がSaaSを利用するとみられています。

つまり、従業員250名以上の企業におけるSaaSの利用率はあまり普及せず、従業員1000名未満の企業を中心にSaaSが普及すると予測されているようです。

これは、自社運営とSaaS利用の損益分岐点とリスク管理の点で従業員250名以下の企業でSaaS利用に軍配が上がると予想されていることになります。

一方で日本はどうかと言われれば、今後はまだ判りませんが、日本のSaaSプロバイダ次第ではないかと筆者は考えています。

特に電子メールやオンラインストレージ、開発環境等、機密性が高い分野のSaaSサービスについては、海外のSaaSプロバイダーに委託をするのはかなりリスクが高いと考えています。実際にどのSaaSプロバイダーに聞いても、データの物理的存在場所は明確でないだけでなく、米国の愛国者法（通称パトリオット法）が有事に適用された場合、SaaSプロバイダーのサーバは差し押さえられるため、どうしても自社データに対する安心感は低いです。実際、有事の場合は、機密情報が第三者（国家機関）に閲覧されるだけでなく、サービスが停止するため、利用企業の被害は甚大になります。

いわゆるサムライ・クラウドがより良いサービスを提供し、十分なサービスレベルおよびコストで市場評価を得られるようになれば、愛国者法の観点では安心できるため、日本での普及が加速化されるのではないかと考えています。

弊社が提供するOpen-Xchangeは日本人技術者による24時間365日サポートを標準で提供し、かつホスティングエディションは利用者数に応じたライセンス体系になっているため、サービス開示当初でも黒字を出しやすい価格での提供を実現しています。サービス品質が高く、コスト競争力が高いOpen-Xchangeを是非、サムライ・クラウドの皆さまにご検討を頂きたいと考えています。

（吉政 忠志）

※「Open-Xchange」のWebページ
<http://nextit.jp/product/ox/index.html>

編 | 集 | 後 | 記 |

クラウドコンピューティングEXPOには足を運ばれましたでしょうか？私のほうは結局取材対応で、会場を回ることができそうにありません。推測ですが、会場にはクラウドならではの製品と、単純にクラウド・ブームに相乗りしているだけの製品に二分されていると思います。Open-Xchangeは設計当初からクラウドを想定し、開発され、価格体系もクラウドらしい体系になっていますので、ぜひ、そのクラウドらしさをご覧いただきたいです。（吉政）

=====
メール配信元：ネクスト・イット株式会社 「ネクスト・イットNEWS」編集部
発行人：営業推進本部 部長 谷尾 真人
編集人：マーケティングアドバイザー 吉政 忠志
東京都品川区南品川2-4-5NAビル TEL:03-5783-0702 FAX: 03-5783-0734
URL:<http://nextit.jp/> MAIL: info@nextit.jp
=====

※今後、弊社からのご案内が不要の場合は、誠に恐れ入りますがこのメールの返信で『ご案内メール不要』のご連絡をいただきますよう、宜しく願い申し上げます。

=====
(C) Next IT Inc., All Rights Reserved ==